

# 「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 14 日

事業名称		スポーツ振興事業費 [ロードレース大会]						
予算科目	款 10	教育費	項 5	保健体育費	目 1	保健体育総務費	事業番号 3	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)							
担当部署・課長名	社会教育		課 生涯学習		係	課長名	高田 匡章	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	1 - 5		
【施策名】 スポーツ・レクリエーションの推進					総合計画書(ページ)	43		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)				
	東大和市ロードレース大会申込者数(健康増進等の目的でロードレース大会に参加したいと思う人たち)			申込者数				
	→							
この仕事の目的	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)				
	①定員数(700人)に近い参加者数(実際に参加した人)を維持する ②各体育大会を通じて、スポーツをすることの大切さや楽しさを感じてもらおう。			①実際に参加したランナー数/ランナー数上限数(700人)比率 ②スポーツ・レクリエーションの推進の施策に対する市民の満足度				
	→							
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)				
	ロードレース大会の開催 ・大会の適切な運営 ・実行委員によるホームページ等の更新 ・市内小中学校への広報 ・市内外関係各所への広報 ・当日の役員配置による安全確保 ・障害保険への加入			左記の事務実施回数 ※ただし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、大会は中止となった。				
	→							
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標
	対象指標	①の数値	人	697	692	0 (申込前に大会中止)		
	成果指標	②の数値	①% ②%	①99.6 ②17.5	①98.9 ②20.6	①0 ②16.0		
	目 標	②の目標値	%	①100 ②21.6	①100 ②21.6	①100 ②21.6	①100 ②21.6	
目標値設定の考え方 市民意識調査において、平成33年(令和3年)の「スポーツ・レクリエーション活動の推進に対する市民の満足度」の目標値を21.6%としている。(第四次基本計画)								
活動指標	③の数値	回	1	1	0			
3 経費	事業費(実績)		円	2,440,439	2,232,937	110,440	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	1,387,439	1,116,937	110,440		
		特定財源(国・都・他)	円	1,053,000	1,116,000	0		
		(うち受益者負担)	円	333,000	317,300	0		
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3		
		所要人数(再任用)	人	0.3				
		職員人件費(再任用以外)	円	2,473,200	2,493,000	2,514,000		
	職員人件費(再任用)	円	905,700					
事業費+人件費		円	5,819,339	4,725,937	2,624,440			
4 環境変化等	(1) 開始年度		S40 年頃					
	(2) 環境の変化		開始当初は、子どもを対象とした事業であったが、別に陸上競技協会が実施していた大人対象の事業と合併し、幅広い世代からの参加が得られる大会に変化した。 第47回大会からは、参加者の範囲を市外にも広げ、記録計測も業者に委託し、ICチップによる記録計測やインターネット受付を実現することで、業務の効率化を図った。 なお、開始当初は無料であった参加費を徴収することとし、大会運営費の一部として受益者負担となっている。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、大会を中止した。					

